（様式第 1-3号）

平成30（2018）年度　日韓文化交流基金　派遣フェローシップ申請書

氏　名	漢　字			写　真 1年以内に 撮影したもの （4cm×3cm）
	フリガナ			
	ローマ字			
性　別	□ 男　□ 女	生年月日	19　　年　　月　　日（満　　歳）	
国　籍		日本の 永住権	□ 有　□ 無　外国籍の申請者のみ	

現　職	機関名			
	役職・職位	＊博士課程在籍中で修了必要単位を取得済みの方は、「博士課程在籍中」とお書き下さい。		
所属機関	所在地	〒		
	電　話		FAX	
自　宅	住　所	〒		
	電　話		（FAX）	
E-MAIL				
携帯電話				

専門分野	
研究テーマ	
訪韓期間	年　　月　　日　～　　年　　月　　日（　　ヶ月　　日間）

受入研究機関名		大学(大学院)・学部（研究科）名まで記入		
機関所在地	우			
研究協力者/ 共同研究者	氏　名			
	職　位			
	E-MAIL		研究室電話	

氏名

学　歴　大学以上の学歴について記入

在籍期間	研究機関名	取得学位
～		
～		
～		
～		
～		
～		
修士論文題目		年　　月 学位取得
博士論文題目		年　　月 学位取得

職　歴

在籍期間	所属機関名	職　位
～		
～		
～		
～		
～		
～		
～		
～		
～		
～		

韓国滞在研究歴　留学等を含め、韓国での 3 ヶ月以上の研究活動の経験について記入

滞在期間	所属機関名	職位・身分	資金援助機関
～			
～			
～			
～			

氏名

主要な研究業績　主要な著書・論文についてデータを記入（新聞等の記事は除く）

刊行年	論文名/書名	論文掲載誌名・巻号数・掲載ページ

語学能力　語学能力のレベルを以下の項目別に A, B, C を用いて記入　（A：よくできる　B：ある程度できる　C:ほとんどできない）

	論文が書ける	文献が読める	専門的な議論ができる	フィールドワークができる	日常会話ができる
韓 国 語					
語					

これまでに取得した語学能力検定、もしくは受講した語学研修・コース等があれば記入

氏名

研究テーマ	

研究概要　研究計画・研究内容を要約して記入（300 字以内）

研究の意義（研究の経緯とオリジナリティ、研究分野の現状からみた本研究の位置付け）

氏名

訪韓期間中の研究事項とその研究方法

研究事項	具体的な研究方法・調査内容・調査スケジュール

訪韓研究の必要性、受入機関・研究協力者の選択理由

氏名

訪韓中及び帰国後の研究成果の発表予定 複数回答可

①訪韓中

☐ 学会で発表する
学会名:

☐ 学術誌に寄稿する
誌名:

☐ 研究会で発表する
研究会名:

☐ その他

②帰国後

☐ 学会で発表する
学会名:

☐ 学術誌に寄稿する
誌名:

☐ 研究会で発表する
研究会名:

☐ その他

他機関からの支援 現在、他機関の研究支援で助成が決定しているものや受給しているもの、申請を予定しているものについて必ず記入

機関名	支援形態(金額)	支援期間(決定時期)	申請状況
			申請中 ・ 承認
			申請中 ・ 承認
			申請中 ・ 承認
			申請中 ・ 承認

その他の提出書類

☐ 推薦書

☐ 研究者受入承諾書

☐ 最終学歴の修了(卒業)証明書

上記の記載内容は事実に相違ありません。

日 付＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

研究者受入承諾書　作成例

これはあくまで作成例です。各受入機関で所定の書式がある場合は、そちらが優先されます。

また、受入機関による書類発行が困難な場合、申請段階においては、研究協力者が作成する同内容の書類で代用できるものとします。ただしその場合、採用決定後に、受入機関発行の正式な受入承諾書のコピーを基金に提出するものとします。

_____大学第_____号

20__年____月____日

____大学　____学部

職位　　氏名　　殿

____大学校____大学 ____学部

職位　　氏名　　（印）

研究者受入承諾書

貴殿が公益財団法人日韓文化交流基金派遣フェローシップ事業により、訪韓フェローとして採用された場合には、本学____学部教授会を経て、（客員教授・客員研究員・外国人研究員）として受け入れることを承諾いたします。

記

1. 研究テーマ:

2. 受入期間:　　年　月　日　～　　年　月　日

3. 受入身分:

4. 研究協力者: